

特別講演 4

あなたの父母を敬え(申命記五章十六節)

～神に喜ばれる子育て～

上平仁志

日本聖公会司祭

私の扱うテーマは、旧約聖書の中でも最も基本的な教えである、十戒の中の「あなたの父母を敬え」であります。ユダヤ人は聖書の教えに従って、家庭での子育てを最も大切にしてきた民族です。元、イスラエル国連大使であったアシエル・ナウム氏は、『ユダヤ式教育』という本の中で「親から教わる知恵や価値観に勝るものはない」と言っています。

確かに、「三つ子の魂百まで」と言われますように、家庭において親から教わる知恵や価値観は人生のあらゆる場面を網羅していると思います。しかし、現代社会のように価値観が多様化し、一昔前のような家族構成とは全く異なった核家族において、若い母親が子育てをするのは、正に至難の業と言っても過言ではないと思います。

ところで、十戒はモーセがシナイ山で二枚の石の板に記された神の言葉を授与されたものであります。しかし、元来の起源は預言者たちの警告の言葉を、権威ある神の法として書き改めたものと言われています。文体は「～しなさい」という訓令と、「～してはならない」という禁令によって構成されています。

いずれにしても、「十戒」の前半はイスラエルの民が、エジプトの奴隷から救われて神の民とされた恵みについて語られ、後半はその恵みに応える人間関係のことが記されています。つまり、神様から恩を受けている者が当然のこととして行なうべき倫理規定が示されています。

注目すべきことは、「父母を敬え」という規定が、前半の神と人間の関係として扱われている点であります。多分、これは申命記において「あなたの神、主が命じられたように、あなたの父母を敬いなさい」という規定によるものと思われる。したがって、イスラエルでは両親を敬うことは神を敬うことであり、両親に服従することは、直ちに神への服従に結びつくこととなります。

ちなみに、トーラー(聖書)の教えでは、子の創造は両親と神との協力によるものとされています。すなわち、人は神と両親の三者によって創造されます。両親は自分たちで子どもを造ったと思うかも知れませんが、親は神様の創造に参加させていただいたにすぎません。ですから、子は親を敬うことによって神様を喜ばせることとなります。

いずれにしても、一昔前までは子は親を手本として育ち、「子は親の背中を見ながら育つ」と言われ、伝統的なしつけが連綿と受け継がれていました。親にも威厳があり、子ども自分の本分をわきまえていました。ところが、現代においては、昔ながらの子育て

特別講演 4

はほとんど切り捨てられ、親の権威は取りはずされてしまいました。その結果、親は優柔不断となり情緒不安定な子育てになってしまっています。本来、子育ては楽しく創造的体験であるはずなのに必ずしもそのようにならない現実があります。

ところで、トーラー(聖書)を生活のよりどころとしているユダヤ人は、現在もなお、親は威厳のある支配的な存在であると言われます。ユダヤ教では、少なくとも親としての責任放棄は認められません。子育ては神と両親の共同の業ですから、子どもを「神に喜ばれる人となるように育て上げること」は親の使命であり、まさに、ユダヤ人にとって子育ては神聖な仕事であります。

この点について、『ユダヤ式家庭教育』の著者ミリアム・レヴィ女史は、「それにはまず、親自身がこうあってほしいという手本を示すと共に、親は、必要に応じて権威を示さなければならない」と述べています。何故なら、「両親を畏れなさい」という「ミツパー」(戒律)では、親子は役割においては平等ではないと教えているからです。

つまり、イスラエルにおいて両親は知識や経験があるから父母なのではなく、神の戒めと信仰によって養育する責任があるから父母なのです。この「宗教子育て」をする責任として負うところに両親の権威があります。

では、子の責任はどうでしょうか。それは、単に両親が以上のような責任を負う者だから敬えということだけでなく、この戒めはさらに成人した子たちが、年老いた両親に対する配慮を「主に命じられ」ているからにはほかなりません(箴言 23・22)。その決定的理由は、この戒めの後半にある「そうすればあなたは、あなたの神、主が与える土地に長く生き、幸いを得る」(父祖の遺産とともに祝福される)という生活条件にみられません。

ちなみに、「敬う」というヘブライ語の原語は「重んずる」(カーボード)に由来し、「栄光」「名誉」という神に対する用語となり、「父母を敬う」ことは子にとって最も神聖な戒めとして与えられているものです。

いずれにしても、「父母を敬え」という戒めは、唯一の神への服従においてのみ成就するものであります(第一戒参照)。主イエスは十字架の上においても、母マリアを愛弟子にゆだねる配慮を忘れたまいませんでした(ヨハネ 19・25 - 27)。それゆえ「主にあって両親に従いなさい」(エペソ 6・1)といいうる親と、それを聞きうる子に勝つてすばらしい親子はないと思います。

参考文献

アシエル・ナウム 『ユダヤ式教育』

ミリアム・レヴィ 『ユダヤ式家庭教育』

関田寛雄著 『十戒・主の祈り』